

# 太田川ダムの試験湛水

ダムの本格的な運用に移行する前に、貯水池の水位を上昇及び下降させ、ダムや、その基礎地盤及び貯水池周辺の斜面の安全性を確認します。

## 試験の方法

最高水位(サーチャージ水位)まで貯水した後に、常時満水位まで水位を下げ、この間に所定の観測を行い安全性を確認します。

試験湛水中は常用洪水吐をゲートで閉じています

**常用洪水吐**  
水が常時流れる箇所  
(幅 4.8m、高さ 4.8m)

堤体内の仮排水路をゲートで閉じて、試験湛水が始まります

試験湛水前(ダム上流側より望む)



仮排水路敷高(標高224m)

(平成20年10月2日撮影)

サーチャージ水位まで水を貯めます

試験湛水中は、ダムの堤体内に埋め込まれた機器の計測や、堤体及び貯水池周辺の巡視を行います

サーチャージ水位(標高284m)



**サーチャージ水位**  
洪水時の最高水位

試験期間中も、一定の流量は下流に流しています

サーチャージ水位を1日保った後、毎日1mずつ水位を下げます

常時満水位(標高270.5m)



**常時満水位**  
平常時の最高水位  
この水位より上が洪水を調節するための容量となります

ダムの運用中も、機器の計測や、巡視を行います

常時満水位まで水位を下げ、安全性を確認してからダムの運用を開始します

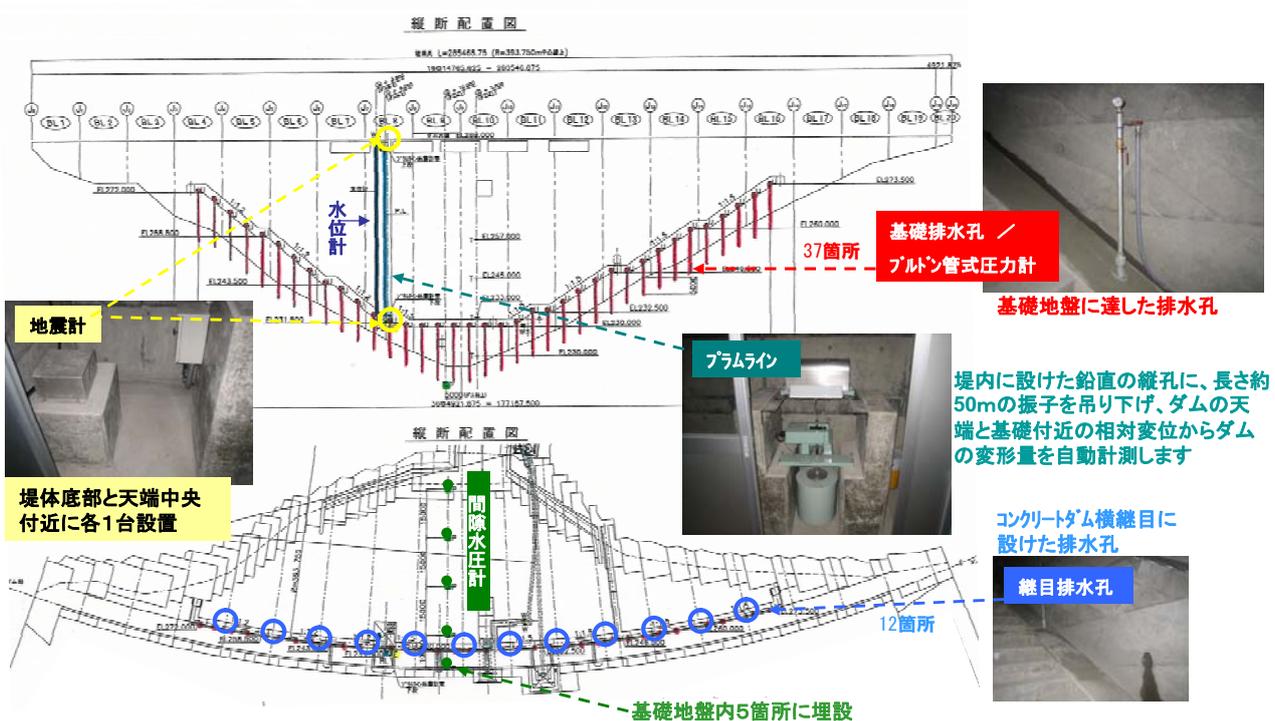
# 試験湛水中のダム堤体の計測

- 計測項目 : ① 漏水量・基礎排水孔(37箇所), 継目排水孔(12箇所)  
 ② 揚圧力・ブルドン管式圧力計(37箇所), 間隙水圧計(5箇所)  
 ③ 変形・プラムライン(1式)

計測頻度 : 試験期間中は1日1回の計測を基本とします



太田川ダム監査廊内部



## 太田川ダム管理所



① 太田川ダム管理所



② ダムコンピュータ



③ 管理・観測設備



④ 放流警報屋上設備



⑤ 監視カメラ(かわせみ橋)



⑥ 市場橋水位観測局